



平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年4月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 篠崎屋

コード番号 2926 URL <http://www.shinozakiya.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 樽見 茂

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長兼IR室長

(氏名) 沼壽 昭宏

TEL 048-970-4949

四半期報告書提出予定日 平成24年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	2,474	△5.1	89	—	92	—	72	—
23年9月期第2四半期	2,607	△7.9	7	△94.0	7	△93.8	△4	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	502.73	—
23年9月期第2四半期	△31.25	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第2四半期	2,361	1,418	60.1
23年9月期	2,183	1,346	61.7

(参考) 自己資本 24年9月期第2四半期 1,418百万円 23年9月期 1,346百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年9月期	—	0.00			
24年9月期(予想)			—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,014	△4.6	213	—	215	—	191	—	1,327.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
 - ④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期2Q	144,366 株	23年9月期	144,366 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	— 株	23年9月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期2Q	144,366 株	23年9月期2Q	144,102 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の売上高は2,474,351千円（前年同四半期比5.1%減）、営業利益は89,970千円（前年同四半期は7,562千円）、経常利益は92,419千円（前年同四半期は7,512千円）、四半期純利益は72,577千円（前年同四半期は四半期純損失4,503千円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(小売事業)

当社は、前期より全ての経営資源を小売事業に集中し当該事業の基盤確立に向けて取り組んでおります。今年度は「現場力」を経営方針に、現場における様々な問題及びその解決策を現場で取り組むことにより、将来の成長があると考え事業を推し進めてまいります。

前期まで店舗当たりの売上増を優先していたために想定以上の値引き及び廃棄ロスが発生し、結果、目標とすべき利益の確保に至りませんでした。今年度は工場直売所の原点である「その日の商品はその日に売り切る」ことを優先するために、店舗当たりの適正在庫の見極めに注力し発注精度向上に努めました。その結果、売上総利益率は前年同四半期比3ポイント程度改善しましたが、豆腐・揚げ物類に比較して利益率が低い菓子・デザート類、惣菜類の商品別構成比が高まり売上総利益率は計画比2ポイント程度下回りました。

また、発注精度が向上したことに加えて特売等のイベント販売を見送った結果、値引き及び廃棄ロスは大幅に減少しましたが、一方で夕方には商品が少なくなり集客ロスが発生し、店舗当たりの顧客数は前年同四半期比90%となった結果、売上高は前年同四半期比95%となりました。今後は、豆腐の工場直売所から大豆加工食品の専門店としてカテゴリー及びブランド強化を課題に顧客増加に努めてまいります。

出店につきましては、今期はスクラップアンドビルドを前提として、5店舗程度の出退店を計画しておりましたが、既存店舗の収益基盤をより強化するために集客力の見込みが薄い不採算店9店舗を退店する一方で、出店は2店舗となりました。

商品開発につきましては、豆腐類・揚げ物類を含めた全ての商品を当社が企画・開発し協力工場において製造を委託する豆腐版SPAを開始しました。

以上の結果、小売事業の売上高は2,124,674千円、セグメント利益（営業利益）は156,053千円となりました。

(その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業であります。

その他事業の売上高は349,676千円、セグメント利益（営業利益）は51,707千円となりました。

なお、当第2四半期累計期間の出店状況は、次のとおりであります。

(単位：店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当第1四半期末 店舗数
小売事業	工場直売所（直営店）	73	2	9	66
その他事業	工場直売所（加盟店）	97	6	5	98
合計		170	8	14	164

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して178,116千円増加し2,361,735千円となりました。主な要因は、現金及び預金が304,641千円増加した一方、有形固定資産が292,103千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して105,538千円増加し942,809千円となりました。主な要因は、買掛金が125,265千円増加した一方、リース債務合計が31,962千円及び未払費用が23,365千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して72,577千円増加し1,418,925千円となりました。これは利益剰余金の増加72,577千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度と比較して304,641千円増加し419,236千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、279,445千円（前年同四半期は155,168千円の収入）となりました。これは主に、増加要因として税引前四半期純利益83,784千円、減価償却費及びその他の償却費39,981千円、仕入債務の増加額122,230千円及びたな卸資産の減少額56,911千円、減少要因として売上債権の増加額38,437千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、57,156千円（前年同四半期は11,795千円の支出）となりました。これは主に、割賦債権の回収による収入42,444千円、リース債権の回収による収入13,433千円及び敷金及び保証金の回収による収入12,489千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、31,962千円（前年同四半期は27,494千円の支出）となりました。これはリース債務の返済による支出31,962千円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年9月期通期の業績予想につきましては、現時点では、平成23年11月10日公表の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	114,594	419,236
売掛金	117,989	156,496
商品及び製品	68,018	126,531
原材料及び貯蔵品	117,460	2,035
繰延税金資産	87,196	87,196
その他	55,729	104,355
貸倒引当金	△1,070	△330
流動資産合計	559,918	895,521
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	218,859	205,034
構築物（純額）	21,045	19,526
機械及び装置（純額）	262,214	125
工具、器具及び備品（純額）	73,023	56,636
土地	675,286	675,286
その他（純額）	599	2,314
有形固定資産合計	1,251,028	958,924
無形固定資産	4,777	4,175
投資その他の資産		
投資有価証券	120,205	120,000
敷金及び保証金	217,760	200,134
その他	41,370	184,399
貸倒引当金	△11,440	△1,419
投資その他の資産合計	367,895	503,114
固定資産合計	1,623,701	1,466,214
資産合計	2,183,619	2,361,735

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	497,227	622,492
リース債務	63,290	60,508
未払金	81,157	140,016
未払費用	72,980	49,615
未払法人税等	34,434	19,373
株主優待引当金	8,600	—
その他	5,265	5,668
流動負債合計	762,954	897,674
固定負債		
リース債務	67,351	38,170
その他	6,965	6,965
固定負債合計	74,316	45,135
負債合計	837,271	942,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,715,805	2,715,805
資本剰余金	2,616,490	2,616,490
利益剰余金	△3,985,947	△3,913,369
株主資本合計	1,346,348	1,418,925
純資産合計	1,346,348	1,418,925
負債純資産合計	2,183,619	2,361,735

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	2,607,203	2,474,351
売上原価	1,698,683	1,539,852
売上総利益	908,520	934,498
販売費及び一般管理費	900,958	844,528
営業利益	7,562	89,970
営業外収益		
受取利息	1,310	2,131
為替差益	73	113
受取保険金	—	1,648
受取保証料	3,000	—
その他	1,494	2,122
営業外収益合計	5,878	6,016
営業外費用		
租税公課	3,805	2,763
その他	2,121	803
営業外費用合計	5,927	3,566
経常利益	7,512	92,419
特別利益		
固定資産売却益	7,135	—
その他	795	—
特別利益合計	7,930	—
特別損失		
災害による損失	4,973	—
投資有価証券評価損	—	205
店舗閉鎖損失	865	8,350
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	810	—
その他	428	79
特別損失合計	7,077	8,635
税引前四半期純利益	8,365	83,784
法人税、住民税及び事業税	12,869	11,207
法人税等合計	12,869	11,207
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,503	72,577

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	8,365	83,784
減価償却費及びその他の償却費	86,452	39,981
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,114	△715
受取利息及び受取配当金	△1,310	△2,131
為替差損益(△は益)	△73	△113
投資有価証券評価損益(△は益)	—	205
固定資産売却損益(△は益)	△7,069	—
店舗閉鎖損失	865	8,350
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	810	—
売上債権の増減額(△は増加)	110,090	△38,437
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,781	56,911
仕入債務の増減額(△は減少)	15,096	122,230
未払金の増減額(△は減少)	△45,740	40,576
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,166	18,860
その他	11,666	△25,329
小計	178,882	304,172
利息及び配当金の受取額	1,323	2,152
法人税等の支払額	△25,038	△26,879
営業活動によるキャッシュ・フロー	155,168	279,445
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,317	△7,021
有形固定資産の売却による収入	32,664	—
無形固定資産の取得による支出	△5,107	—
貸付金の回収による収入	2,040	1,640
敷金及び保証金の差入による支出	△33,163	△5,376
敷金及び保証金の回収による収入	11,485	12,489
リース債権の回収による収入	—	13,433
割賦債権の回収による収入	—	42,444
その他	△2,395	△452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,795	57,156
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△37,372	△31,962
株式の発行による収入	9,878	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,494	△31,962
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	115,878	304,641
現金及び現金同等物の期首残高	46,451	114,594
現金及び現金同等物の四半期末残高	162,330	419,236

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自平成22年10月1日 至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,241,067	366,136	2,607,203	-	2,607,203
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,241,067	366,136	2,607,203	-	2,607,203
セグメント利益	103,524	45,344	148,868	△141,306	7,562

(注) 1. セグメント損益の調整額△141,306千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,124,674	349,676	2,474,351	-	2,474,351
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	2,124,674	349,676	2,474,351	-	2,474,351
セグメント利益	156,053	51,707	207,760	△117,790	89,970

(注) 1. セグメント損益の調整額△117,790千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。